

2.5 人工段差落下試験（トレーラの振動特性試験）

2.5.1 概要

トレーラ部分の基礎的な振動特性の簡易な評価手法に関する基礎的な検討を行うため、トレーラ部の3軸または2軸の車軸を同時落下させることによりトレーラ部を強制加振し、落下時の各車軸の軸重や車体各部の加速度の応答から、トレーラ部に生じる振動状態やその評価のあり方について考察した。

2.5.2 試験方法

(1) 試験手順

試験の手順は以下の通りである。

- ① トレーラ振動試験用ステップを水平路面上に設置する。
- ② トレーラの各輪を、試験用ステップ上に載せ、車両を静止させる。
- ③ 車両を低速度で前進させ、トレーラのすべての車輪が同時に落下するときの、動的軸重や車体各部の加速度波形を測定する。車両側での測定項目および方法は、道路走行試験と同様である。なお、試験用ステップは、車輪の落下後、その通行を妨げないようにすみやかに進路上から移動させる。

図-2.5.1 にトレーラの振動試験用ステップの概略、写真-2.5.1 にトレーラ振動ステップ、写真-2.5.2 にトレーラ振動試験の状況を示す。

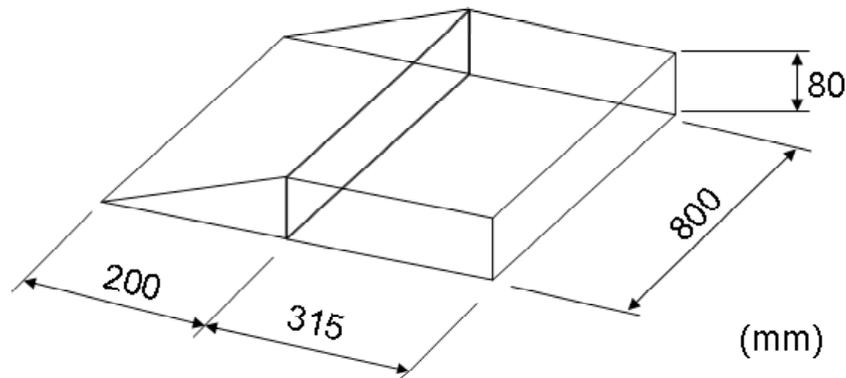


図-2.5.1 トレーラ振動試験用ステップの概略



写真-2.5.1 トレーラ振動試験用ステップ



(a) ステップ上で静止した試験車両



(b) ステップ落下後の試験車両

写真-2.5.2 人工段差落下試験の状況